

令和6年司法試験合格体験記

令和6年度在学中受験（既修コース）和田 菜月

この度、司法試験に合格いたしました和田菜月と申します。

振り返れば、ロースクールでの学びは決して順風満帆ではなく、成績が思うように伸びないと悩むときや自分の進むべき道に迷いを感じたこともありました。しかし、先生方の親身で明確なご指導のおかげで折れずに試験勉強を続けることができました。お世話になった先生方、共に励まし合った仲間たち、そして家族の支えなくして、この結果はありませんでした。心より感謝申し上げます。

皆さんにお伝えしたいことが二つあります。一つ目は、ぜひ大学の授業を大切にしてほしいということです。具体的には、毎日の授業の予習・復習や中間・期末試験に向けての試験勉強に、真剣に取り組むことです。在学中受験をする場合には特に、時間の制約があります。既修者入学の場合は、入学して1年3ヶ月で、未修者入学の場合には2年3ヶ月で、司法試験の本番を迎えることになります。その限られた時間の中では限られた内容の勉強しかできません。私は、ロースクールに入学してから司法試験を迎えるまで、授業の予習・復習、そして、司法試験の過去問演習、これら以外のことは時間がなくてできませんでした。しかし、勉強することを絞って集中的に取り組んだことが結果として、合格に近づいたのかもしれないと考えます。

二つ目は、心の余裕を持つことも重要だと思います。長く、あらゆるストレスのかかる受験期間の中で、心身の健康、とくに心の健康を保つことはなにより大切です。私の場合、1週間のうち、半日は勉強をしない日をつくるようにしていました。また、土日は睡眠をしっかりとるようにしていました。そのため、リフレッシュしながら学びを深めていくことができました。自分に合ったリズムを見つけることで、最後まで走り抜ける力を得ることができたと考えています。

この体験記が、後輩の皆さんの励みとなれば幸いです。そして、皆さんが自分の目標に向かって進み続けることを心より願っています。